

賀正

体調万全ならずとも、CDウォークマンを装着して「墓所往復ウォーキング」(約五千歩)、「廊下ウォーキング」に努力しています。また、認知症予防にはるかと思ひ、日記の余白に数学の演習と書き、連ねています。驚くはかれ、昨年も老妻と三百二十本の映画を観ました。

読書

素数に憑かれた人たち(ジッターバーシャー)……素数(2,3,5,7,11,13……)は無限に存在することは簡単に証明できるのに、その出現の仕方は謎で、数論学者を悩ませ、解明への苦闘が続いている。

音楽

メサイア……「人類の星の時間(シユテランツヴァイク)の第三章「ヘンデルの復活」に感銘し、この稀有の大曲(百四十分)が師走の我家に幾度も鳴り響いた。

映画

博士の愛した数式「プルーフオブマイライフ」……二作品とも精神を病んでいる数学者の物語であるが、非に惨さはなく、ほのぼのと明るさがある。

教へ子の賀状幾度も返し読む

平成十九年(二〇〇七年)正月

